**日本生理心理学会　大会発表論文集原稿　投稿チェックリスト**

氏名：　　　　　　　　　　メールアドレス：　　　　　　　　　　　　　　※必ずお書きください

以下の13点をご確認ください。

[ ]  発表題目は，**MSゴシック太字**10 ptで中央揃えになっていますか？

[ ]  副題がある場合，前後に“―”（全角ダッシュ）がついていますか？

[ ]  単独発表のときでも，主発表者に〇がついていますか？

[ ]  所属は学部や研究科まで書き，直前の発表者と同じ所属は省略されていますか？

[ ]  発表者の氏名の間に半角スペースが入っていますか？

[ ]  段落の最初に全角スペースが入っていますか？

[ ]  ３種類の見出し（**中央大見出し**，**横大見出し**，**横小見出し**）はテンプレートに従っていますか？

[ ]  本文の日本語はMS明朝，英数字はTimes New Romanの10 ptフォントになっていますか？

[ ]  句読点は，カンマ（，）とマル（。）になっていますか？

[ ]  図と表に，番号とタイトルがついていますか？（例：Figure 1，Table 1; 図1や表1とはしない）

[ ]  図と表が余白（上下30 mm，左右20 mm）にはみ出していませんか？

[ ]  引用文献がある場合は，テンプレートの書式に従っていますか？

[ ]  その他，文字数・行数・フォントサイズなど，テンプレートの書式を変更していませんか？

・テンプレートに沿わない原稿は，著者の許可を得ずに，軽微な書式修正をすることがあります。

・締切に間に合わない原稿，テンプレートから著しく逸脱した原稿は掲載しないことがあります。

以上の点をご理解の上，テンプレートに沿ったファイルの投稿をお願いいたします。

**提出の手順**

1. このWordテンプレートを使って原稿を作成します。このページはつけたままにしてください。

2. ファイル名を「演題番号-主発表者」にしてください。（例：「P01-生心太郎」）

3. 以下のアドレスから Dropbox（オンラインストレージサービス）にアップロードします。

　 https://www.dropbox.com/request/R20vlg8oTlOTljl46hSn

4. 投稿時に氏名とメールアドレスをご入力ください。Dropboxのアカウントは必要ありません。

 「アップロード完了」と表示されたことをご確認ください（受理通知メールは送付しません）。

5. 締切（大会最終日）までは何度でも差し替えが可能です。新しいファイルをDropboxに再アップロードしてください。編集部にご連絡いただく必要はありません。アップロードされた最も新しいファイルを入稿します。

**日本生理心理学会大会発表論文集原稿作成要領**

**―2022年度版―**

○姓 名（△△大学□□研究科）

　姓 名（△△大学□□研究科）※同一の所属は省略する

　大会発表の内容は，学会誌「生理心理学と精神生理学」に掲載され，J-STAGEで一般公開されます。その著作権は，日本生理心理学会に帰属します。このテンプレートに従って原稿を作成し，Microsoft Word形式のまま，アップロードしてください。ファイル名は“演題番号-主発表者”としてください。編集部で最小限の書式調整を行った後，そのままオフセット印刷します。作成要領から著しく逸脱した原稿は掲載しませんので，ご注意ください。問い合わせは，編集委員会事務局（jjppp@seirishinri.com）までお願いします。

**原稿の構成**

　科学論文の要件を満たすように，研究の目的，方法，結果，考察などの項目に分けて記述してください。一連発表の場合にも，それぞれの発表が完結した論文であることが必要です。書き方は，「日本心理学会執筆・投稿の手びき（2015年改訂版）」に準じます。ただし，著者が3名以上の場合は，初出時から第1著者名以外は“et al.”または「ら」と略記してください。

**用紙と書式**

Microsoft Wordを使用して，A4用紙1ページで作成してください。24字×42行×2段とします。余白は上下を30 mm，左右を20 mmとってください。

**題目**　MSゴシック太字10 pt，中央寄せ。副題がある場合は，前後に“―”（全角ダッシュ）をつけます。

**発表者名**　MS明朝10 pt，左寄せ。姓と名の間に半角スペースを入れ，主発表者の氏名の前に○印をつけてください（連名発表者がいない場合も）。

**所属**　MS明朝8 pt。氏名の横にスペースを入れずに書き，“（　）”（全角丸かっこ）で囲みます。所属が大学の場合には，学部や研究科の名称まで省略せずにお書きください。所属が複数ある場合には，“，”（全角カンマ）で区切ってください。連名発表者の所属が主発表者と同一のときは省略します。

**見出し**　MSゴシック太字10 pt。“方法”，“結果”，“考察”は横大見出し（左寄せ，改行），“実験参加者”などは横小見出し（左端を1字あけ，1字あけて本文を続ける），“引用文献”や複数の実験を報告する場合の“実験1”などは中央大見出しとします。

**本文**　日本語はMS明朝，英数字はTimes New Romanの10 ptを使用してください。発表者名・所属の行から1行あけて始め，段落の最初は1字下げてください。句読点は，全角のカンマ（，）とマル（。）を用います。英数字はすべて半角とします。

**記号など**　統計量を表す記号（*M*，*SD*，*t*，*F*，*p*，*df*など）は，ギリシア文字を除いて斜体にします。例や説明を書く場合にはコロン（：）を用います。セミコロン（；）は，統計値を列挙する場合および括弧内に引用文献を列挙する場合に使ってください。括弧は，原則として2重括弧の場合も含め（　）を使用します。下線や傍点は使用しないでください。数式記号（=，<，>など）は半角で書き，その前後に半角スペースを入れてください。量を表す数字と単位の間にも半角スペースを入れます。

**図表**　図と表を合わせた面積が全体の約1/3を超えないようにしてください。図表には，番号とタイトルを記入してください。Figure 1のようにカラー図版を載せることもできますが，細かな色合いの指定はできません。Table 1に，引用の仕方を示します。



Figure 1. カラー図版も掲載可。

Table 1. 本文での文献の引用の仕方

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 著者数 | 文中に入れる場合 | 括弧内に示す場合 |
| 1名 | 著者（出版年）は…Author（Year）は… | …である（著者，出版年）。…である（Author, Year）。 |
| 2名 | 著者・著者（出版年）は…Author & Author（Year）は… | …である（著者・著者，出版年）。…である（Author & Author, Year）。 |
| 3名以上 | 著者ら（出版年）は…Author et al.（Year）は… | …（著者ら，出版年）。…（Author et al., Year）。 |

**引用文献**

引用文献は，最後に一括して示します。表記が2行以上にわたる場合には，2行目以降を全角2文字分下げてください。著者の姓のアルファベット順に並べ，著者が同じ場合には，出版年順に並べます。

（脚注・謝辞など　MS 明朝8pt左寄せ。本文の最後に書いて，全角丸かっこで囲んでください。）